

必修選択	講習の期間	講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数
必修	平成30年8月4日	【必修】教育の最新事情	本講習ではテキストを用いて、以下の内容を取り扱います。 ①国の政策や世界の教育の動向 ②教員としての子ども観、教育観についての考察 ③子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。) ④子どもの生活の変化を踏まえた課題 ※講座の中で、「子どもの貧困問題」「心のバリアフリー」についても取り上げます。 本講習は千葉科学大学が千葉大学教育学部と連携して開講します。	保坂 亨(千葉大学教育学部教授) 天笠 茂(千葉大学教育学部教授) 岩田 美保(千葉大学教育学部教授) 笠井 孝久(千葉大学教育学部准教授) 渡邊 健二(千葉大学教育学部准教授)	6時間			8,500円	170人
選択必修	平成30年8月5日	【選択必修】学校における危機管理上の課題	学校のリスク・危機管理に関して、まず、自然災害のリスクについて概説し、学校の様々なリスクを軽減するための事前の備え(リスクマネジメント)と緊急時の対応(クライシスマネジメント)について学びます。次に、学校をとりまく最近のトピックスをいくつか選び、社会や他組織等の考え方も交えながら、自然災害以外の危機管理やリスクマネジメント、教職員としての役割等についても考えていきます。	木村 栄宏(危機管理工学部教授) 藤本 一雄(危機管理工学部教授) 上北 彰(教職課程教授)	6時間			6,000円	170人
選択(1日目)	平成30年8月6日	【選択】インクルーシブ教育の動向と支援の実際	今日の教育においては、障害などを有し特別なニーズを持つ児童生徒が、通常学級とともに学ぶインクルーシブ教育システムの構築が推進されています。本講習では、インクルーシブ教育の理念や国際動向、求められる合理的配慮と基礎的環境整備、今後学校教育に求められる取組などについて、具体的に検討し考えます。また、インクルーシブ教育における学校安全や防災教育上の諸問題などについても考えます。	木村 栄宏(危機管理工学部教授) 相川 正光(危機管理工学部講師) 大塚 朱美(看護学部助教) 上北 彰(教職課程教授) 熊谷 圭二郎(教職課程准教授)	6時間	教諭 養護教諭	全教諭、養護教諭	6,000円	120人
選択(1日目)	平成30年8月6日	【選択】教科書にのっていない政治と国防の最新事情	元衆議院議員及び元幹部自衛官出身の2名の教員により国内外の政治・軍事情勢について講義します。政治情勢については、国際・国内社会の政治情勢を概観し、我が国の政策決定プロセス、国会における審議過程及び国内世論の動向などについて解説します。軍事情勢については、我が国周辺及びアジア太平洋地域の安全保障環境について概観し、国家安全保障会議の役割及び今年検討が行われている「防衛計画の大綱」「中期防衛力整備計画」の概要について解説します。	東 祥三(危機管理工学部教授) 佐藤 庫八(危機管理工学部教授)	6時間	教諭	全教諭(とくに小学校、中学校社会、高等学校公民教諭)	6,000円	30人
選択(1日目)	平成30年8月6日	【選択】気象の観測方法とそのしくみ	身近な自然現象である天気のおくみを実際に観測し、そのしくみを学ぶことで理解をしていきます。気象観測は可能な限り簡単に入手可能な道具(100円ショップで売っているものなど)を使って行います。気象学(地学)の前提知識は必要ありません。1〜2時間程度の屋外での気象観測を予定していますので日射対策(日焼け止め、帽子など)をお願いします。	縫村 崇行(危機管理工学部講師)	6時間	教諭	全教諭(とくに小学校、中学校理科、高等学校理科教諭)	6,000円	20人
選択(1日目)	平成30年8月6日	【選択】地域発:防災教育のかたち 旭・飯岡被災地編	地域にある危険に気づき、いかに実情に応じて自主的に準備できるかが防災力の決め手である。千葉県旭市飯岡地区は東日本大震災の津波で大きな被害があったが、そこで復興まちづくり活動をしているNPO光と風の協力を得て現地見学(避難道・避難タワー・土盛り堤防等)を行う。また、被災者の劇団ふくを招き、防災教育プログラム(旭市内で活動中)も紹介する。さらに建築防災・ボランティア論にも言及する。屋外活動を伴いますので暑さ・歩き易さ対策をお願いします。	船倉 武夫(危機管理工学部教授) 岡林 徹(危機管理工学部講師)	6時間	教諭	全教諭	6,000円	30人
選択(1日目)	平成30年8月6日	【選択】医療危機管理と心肺蘇生法	突然死、不慮の事故や感染症の流行など、われわれの周りには身近な危険が潜んでおり、子どもも例外ではありません。本講習では、医学知識を身につけた上で身近な危険とその対処方法を学びます。学校で起こりうる事故、災害への対応についても言及します。後半は、救急法講習を受講して応急手当を身につけてもらいます。具体的には、応急手当の必要性、AEDを含む心肺蘇生法、異物除去法、止血法などを実習を通じて学習していただきます。	黒木 尚長(危機管理工学部教授) 櫻井 嘉信(危機管理工学部准教授) 服部 恭介(危機管理工学部講師) 日下部 雅之(危機管理工学部講師)	6時間	教諭 養護教諭	全教諭、養護教諭	6,000円	30人
選択(1日目)	平成30年8月6日	【選択】化粧品と皮膚	化粧品にはメイクアップだけでなく、皆さんが毎日使う石鹸やシャンプー、化粧水やクリームなども含まれます。学生にとっても身近な存在ですが、その本質の理解は十分とは言えません。本講習では、皮膚の仕組み、紫外線と皮膚の老化、化粧品の製剤技術、化粧品のモノづくりなどについて講義します。サンスクリーンの賢い使い方やアトピー性皮膚炎の予防など、受講者自身のためにも、学校教育の現場でも役に立つ情報を提供します。	平尾 哲二(薬学部教授) 山下 裕司(薬学部講師)	6時間	教諭 養護教諭	全教諭、養護教諭	6,000円	30人
選択(2日目)	平成30年8月7日	【選択】医療危機管理と心肺蘇生法	突然死、不慮の事故や感染症の流行など、われわれの周りには身近な危険が潜んでおり、子どもも例外ではありません。本講習では、医学知識を身につけた上で身近な危険とその対処方法を学びます。学校で起こりうる事故、災害への対応についても言及します。後半は、救急法講習を受講して応急手当を身につけてもらいます。具体的には、応急手当の必要性、AEDを含む心肺蘇生法、異物除去法、止血法などを実習を通じて学習していただきます。	黒木 尚長(危機管理工学部教授) 櫻井 嘉信(危機管理工学部准教授) 服部 恭介(危機管理工学部講師) 日下部 雅之(危機管理工学部講師)	6時間	教諭 養護教諭	全教諭、養護教諭	6,000円	30人

選択(2日目)	平成30年8月7日	【選択】学校で役に立つ法律の話	小中学校の社会科、高校の公民科では憲法が取り扱われますが、憲法改正や集団的自衛権などをどうやって教えたらいのでしょうか。また、学校ではさまざまなクレームや子どもの非行など、法律を知らないといふことが多くあります。本講座では、学校教員が知っておきたい憲法、刑法、暴対法などの法律について、実際の事例を挙げて講義します。生徒指導担当の学校教員の参加をお待ちしています。	戸田 博也(危機管理学部准教授) 村上 徹(危機管理学部教授)	6時間	教諭	全教諭(とくに小学校、中学校社会、高等学校公民教諭)	6,000円	30人
選択(2日目)	平成30年8月7日	【選択】学級集団づくりの実際	現在、インクルーシブ教育やアクティブ・ラーニングの必要性が指摘されていますが、それらの基盤となるのが、学級集団づくりであり、児童生徒同士の互恵的な相互作用の促進ではないでしょうか。そこでこの講習では現在求められている児童生徒の人間関係づくりや、教師のリーダーシップのあり方などを説明するとともに、どのようにして互恵的な相互作用がある学級集団を育成するかについて心理学の視点から考えていきます。また、教師のためのコーチングについてもワークなどを通して実施する予定です。	熊谷 圭二郎(教職課程准教授)	6時間	教諭	全教諭	6,000円	40人
選択(2日目)	平成30年8月7日	【選択】たのしい授業への招待	「たのしい授業」と聞いて、どんな授業を思い浮かべますか？明石家さんまさんのような、トークを駆使した授業？それとも、池上彰さんのような豊富な知識に裏付けられた授業？どちらも、そんなに簡単にできそうにありません。この講義では、そういった特別な話術や知識がなくても、誰でもたのしい授業ができることを、みなさんに体験してもらいながら示します。具体例としてあげるのは理科の授業ですが、すべての先生方に役立つような内容を提供しますので、他教科の先生方、小学校の先生方もぜひおこしください。	塚本 浩司(教職課程教授)	6時間	教諭	全教諭	6,000円	30人
選択(2日目)	平成30年8月7日	【選択】飛行機が空を飛びひみつ	金属で出来た重たい飛行機がなぜ空を飛ぶのですかと、子ども達に聞かれたらどうしますか？午前中は紙飛行機やブーメランなどを使って、物体が空を飛ぶとはどういうことを、手を使って楽しく体験しましょう。午後は、簡単な操縦理論を学習した後に、模擬飛行装置(FTD)を使った飛行体験を行い、パイロットの仕事について学びます。実際に航空機を操縦・整備していた教員が、体験を交えて講習します。	山梨 明(危機管理学部教授) 山田 光男(危機管理学部教授)	6時間	教諭	全教諭(とくに小学校、中学校理科・技術、高等学校理科・工業教諭)	6,000円	20人
選択(2日目)	平成30年8月7日	【選択】学校におけるストレスマネジメントおよび病気や障害をもつ子どもと支援	学校におけるストレスマネジメントとして①ストレスの仕組み②ストレスの把握③ストレス対処法について、特に②③は演習形式で検討し、教師自身のこころの健康と児童・生徒のこころ支援に活かすことを目指します。また、発達障害や医療的ケア児など、特別な配慮を要する子どもの動向ならびに病気や障害に関する基本的な知識を解説し、具体的な支援について考えます。	吉野 由美子(看護学部准教授) 市原 真穂(看護学部講師)	6時間	教諭 養護教諭	全教諭、養護教諭	6,000円	30人
選択(3日目)	平成30年8月8日	【選択】組織論をたのしく学ぶ	授業、クラス運営、校務分掌などなど、教師の仕事は様々な局面でリーダーシップを発揮しなければなりません。でも、リーダーだけ突っ走ると、みんながおいできほり…なんてことにもなりかねません。逆にリーダーが何もしていないと、みんなばらばらになってしまう。この講義では、ある参加型の体験をしながら、リーダー論・組織論について、みなさんといっしょに考えていきたいと思います。	塚本 浩司(教職課程教授)	6時間	教諭	全教諭	6,000円	30人
選択(3日目)	平成30年8月8日	【選択】ブランド価値の創造と社会生活	ブランド価値の創造(ブランディング)が必要なのは、大企業ばかりではありません。今やあらゆる「組織」をはじめ、「地域」「学校」などそれが必須である動きが広く行きわたるようになりました。本講では、複数の視点から「ブランディング」を捉え、なぜその発想が必要であるかについて検討します。地域ブランディングについては、銚子の歴史と独自性から何が受け継がれよう発展させるべきかを中心に、地域を再認識します。	八角 憲男(危機管理学部教授) 伊勢崎 翼(学外連携・ボランティア推進室参与)	6時間	教諭	全教諭	6,000円	30人
選択(3日目)	平成30年8月8日	【選択】銚子ジオパークのジオサイトを利用した体験型授業	本講習では、銚子のジオサイト(屏風ヶ浦)を利用して、クラス全員を対象とした体験型の理科学習プログラムを紹介します。具体的には、中学校での理科、地学(地層)分野の内容をふまえ、野外での地層見学と標本観察、実体顕微鏡観察などを、1日で行う体験型のプログラムを体験して頂きます。受講者には、実際に野外に出て、地層観察やサンプリングの仕方、実体鏡での観察法等のポイントを解説する予定です。	安藤 生大(危機管理学部教授)	6時間	教諭	全教諭(とくに小学校、中学校理科、高等学校理科教諭)	6,000円	25人
選択(3日目)	平成30年8月8日	【選択】微生物は働きもの～顕微鏡で見るミクロの世界～	私たちの身の回りには、カビ、酵母、バクテリア、プランクトンなど、目に見えない微生物がたくさん潜んでいます。これらの微生物は様々な働きを持ち、私たちの生活にも深く関わっていますが、日常生活の中でそれらの姿を実感する機会は少ないと思います。本講習では、身の回りに潜む微生物を実際に培養し、顕微鏡で観察しながら、それらの働きを学びます。また、今講習で使用する顕微鏡は特殊な顕微鏡ですので、日頃使用されている顕微鏡をご持参可能な方はお持ちいただき、受講することも可能です。	糟谷 大河(危機管理学部講師)	6時間	教諭	全教諭(とくに小学校、中学校理科、高等学校理科教諭)	6,000円	20人

選択(3日目)	平成30年8月8日	【選択】地域発:防災教育のかたち 銚子・稲むらの火編	地域にある危険に気づき、いかに実情に応じて自主的に準備できるかが防災力の決め手である。千葉県銚子市は「稲むらの火」のモデル:濱口梧陵が暮らしたまちであり、市内に点在するゆかりの場所を見学する。5年以上活動実績(銚子市内の小学校で展開中)がある銚子「稲むらの火」プロジェクトを招いて、防災教育プログラムの実際を紹介する。関連して、郷土史・防災情報についても及する。屋外活動を伴いますので暑さ・歩き易さ対策を願います。	船倉 武夫(危機管理理学部教授) 岡林 徹(危機管理理学部講師)	6時間	教諭	全教諭	6,000円	30人
選択(3日目)	平成30年8月8日	【選択】違法薬物の危険性と現状	麻薬・覚せい剤や危険ドラッグなどの違法薬物の危険性について体験実験を交えて紹介し、海外の現状も紹介します。また、講師(大高)は銚子市・旭市・神栖市の小学校・中学校を中心に薬物乱用防止教室を実施しており、アンケート調査から得られた結果も説明します。さらに、グループに分かれ、違法薬物の抑止方法について議論します。	大高 泰靖(薬学部准教授) 野口 拓也(薬学部講師)	6時間	教諭 養護教諭	全教諭、養護教諭	6,000円	60人
選択(4日目)	平成30年8月9日	【選択】対人関係の心理学	まず、学校現場で利用可能な「対人関係に関する心理学的知見(コミュニケーションの基礎知識、ソーシャルサポート、攻撃)」について講義します。その後、対応の難しい児童生徒に関するグループディスカッションやカウンセリング技法に関する全員参加型演習を行い、最後に筆記試験を行います。ディスカッションや演習には本学の心理カウンセラーも参加します。	戸塚 唯氏(教職課程准教授)	6時間	教諭 養護教諭	全教諭、養護教諭	6,000円	30人
選択(4日目)	平成30年8月9日	【選択】学校教育とジェンダー・バイアス	女らしさや男らしさの様な社会的期待としてのジェンダー(社会的性)は少しずつ変化してきています。本講座では、現在の日本におけるジェンダー・バイアスの実態を正しく認識するとともに、グループワークを通してジェンダーを意識した教育活動について考えることを目標とします。とくに、家庭科や体育科の授業、特別活動、養護など、男女の性差、平等、共同参画に関わる学校教員をお待ちしています。	手束 聡子(危機管理理学部講師)	6時間	教諭 養護教諭	全教諭、養護教諭	6,000円	25人
選択(4日目)	平成30年8月9日	【選択】イスラームと現代社会	世界に16億人ほど存在するイスラーム教徒たちの、歴史的文化的背景について講義します。わが国において語られるイスラーム教は「テロ」「内戦」などのイメージと結び付けられる傾向にあります。本講義では、負のイメージの強いイスラームについて、世界史や現代文明への多大な貢献などを、具体例を基に紹介します。あわせて、イスラームに関する様々なトピックについて受講生と担当者との対話形式で考察する作業も行ないます。	橋爪 烈(薬学部講師)	6時間	教諭	全教諭(とくに小学校、中学校社会、高等学校地理歴史教諭)	6,000円	30人
選択(4日目)	平成30年8月9日	【選択】目で見て学ぶ海の世界 ~ 海洋生態系を構成する生き物たち~	海の中には、肉眼では見えない小さな微生物から海洋哺乳類まで、大小様々な生物が生息しており、私たちの生活にも深く関わっています。本講習では、3方を海に囲まれた銚子の立地を活かし、プランクトンの採集・観察、魚の解剖、イルカウォッチング(別途費用必要)などを行い、大小様々な海洋生物を実際に観察します。また海洋生態系におけるそれら生物の役割や人間との関わりについて解説します。	小濱 剛(危機管理理学部准教授) 山口 太一(危機管理理学部助教)	6時間	教諭	全教諭(とくに小学校、中学校理科、高等学校理科教諭)	8,800円	20人
選択(4日目)	平成30年8月9日	【選択】薬と人間	医師から処方される医薬品、薬局で購入する医薬品、漢方薬、健康食品などが、病気の予防・治療を目的として多く使用され、人々の健康に寄与している。しかし、薬同士の飲み合わせや、薬と食品の組み合わせ等、使用を誤ると重大な問題が生じる。この講習では、医薬品や食品を適切かつ有効に使用する為に必要な基礎知識について考え、薬との上手な付き合い方を通して、子どもたちの身体と健康を考える教育に活かすことを目的とする。	細川 正清(薬学部教授) 高崎 みどり(薬学部教授) 巾 正美(薬学部教授) 高橋 正人(薬学部助教)	6時間	教諭 養護教諭	全教諭、養護教諭	6,000円	50人